



## 製造業対抗≡二四駆大会

株式会社MACHICOCO  
代表取締役 戸屋加代

# 目次

- 1 はじめに
- 2 大会の概要とこれまでの実績
- 3 大会開催の理由と開催に至った経緯
- 4 開催による波及効果
- 5 2026年度の計画と今後の展開
- 6 大会開催により広がる今後の未来
- 7 まとめ

# はじめに

本企画書は「製造業対抗ミニ四駆大会」への参画をご提案するものです。

本大会は、製造業企業・大学・学生・技術者が集い、**モノづくりの本質を"楽しみながら学ぶ場"**  
“多くの技術、技術者と出会う場”として  
全国で開催しています。

技術に惹かれた若者たちと、現場で生きる技術者たちが、  
世代を越えて同じフィールドで競い合い、学び合い、繋がる。

技術・教育・地域連携が一体となった全く新しい  
産業イベントです。



## 大会概要

### ■ 大会名

製造業対抗ミニ四駆大会 (Manufacturing Mini 4WD Competition)

### ■ 主催

株式会社MACHICOCO (まちここ)

株式会社豊里金属工業

### ■ 大会の目的

本大会は、製造業に携わる企業・学生・技術者が

「技術を競い、モノづくりの魅力を社会へ発信する」ことを目的としたイベント。

次世代を担う若手育成、技術継承、製造業の活性化、技術革新の輪を広げることを目指しています。

### ■ 特徴

1. ミニ四駆に自社、自分の技術を一つ以上入れることがルール
2. コースやギミック、トロフィー、コントローラーもモノづくり企業が製作
3. 単に走るだけではないマリオカートのようなコース
4. レース＋技術解説＋展示ブース＋交流が一体となったイベント
5. 専用コントローラーBobbyによるスピードコントロール

### 技術の可視化

製造業の技術と魅力を可視化。  
必要とする企業を繋ぐ。

### 育成機会の提供

若者・子どもたちにモノづくりに  
触れる機会を提供する  
業界の若手人材の技術教育

### リクルートへ繋ぐ

企業、技術者の面白さを魅せ、  
次世代の技術者を製造業界へ送る

### 産業プラットフォーム

企業・学生・地域をつなぐ産業  
プラットフォームをつくる

## これまでの実績

### 【2023年】

- 7月30日 第1回大会 (MACHICOCO / 大阪府東大阪市)
- 11月3・4日 第2回大会 (HANAZONO EXPO / 大阪府東大阪市)

### 【2024年】

- 4月20日 第3回大会 (FACTAS / 大阪府東大阪市)
- 10月12日 第4回大会 (FACTAS / 大阪府東大阪市)
- 11月21日 あまがさき産業フェアカップ (兵庫県尼崎市)

### 【2025年】

- 2月9日 関東大会 入間カップ  
(安川電機 埼玉営業所 / 埼玉県入間市)
- 3月22日 第5回大会  
(クリエイションコア / 大阪府東大阪市)
- 4月26日 オイルドクターカップ  
(三輪鋳油 / 三重県菟野町)
- 5月24日 大阪工業大学カップ  
(大阪工業大学 / 梅田キャンパス)
- 7月26・27日 ワールドカップ  
(大阪・関西万博 / 大阪府夢洲)
- 10月2・3日 長野大会 SAKUメッセ杯  
(長野県佐久市)
- 11月20日 あまがさき産業フェアカップ (兵庫県尼崎市)

学生参加校 : 工業高校・高専・大学など

延べ来場者数 : 8,000名以上

後援、連携 : 東大阪市・大阪工業大学・尼崎商工会議所

メディア掲載 : 朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・金型新聞・  
TBS・MBS・.NHK・J:COM・ニコニコ動画

## 累計出場チーム数

263

企業チーム

68

学生チーム

331

合計チーム

ホームページ



<https://thecrafters.jp>

大阪関西万博初日



[ニコ生ライブ配信動画](#)

大阪関西万博2日目



## 大会開催に至った経緯

### 「製造業の技術と技術者の魅力を、どうすれば世の中に伝えられるだろう？」

この大会は、2022年に製造業の技術者たちの何気ない雑談から生まれました。議論が進む中で出てきた意見が、

「何もないところから1から考えて作るのはハードルが高い。何か"テーマ"があれば、もっと取り組みやすいのでは？」という声でした。

- 動くものが良い
- 車だったら誰でもイメージしやすい
- 世代を問わず認知されているものが良い

その先に出てきたのが「ミニ四駆」でした。

「ミニ四駆って、誰もが知ってるし、世代を超えて話せるよね」  
そこで気づいたのは、ミニ四駆は“世代をつなぐモノづくりの共通言語”だということ。

- 0から作るのではなく、“技術を足す”ことで誰でも表現できる
- 子供からベテランまで、みんなが楽しめる
- 製造業同士、企業と学生、地域がつながる

この“共通言語”を使えば、今まで発信しづらかった町工場の技術も、誰かに“伝わるカタチ”で表現できる——そんな思いから大会がスタートしました。

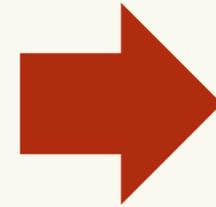


## 開催する理由 その①

### 顕在化してきた製造業の問題を解決する

日本の製造業は、かつて世界をリードする存在であったのが近年以下のような課題が顕在化しています。

- 若者の製造業離れ
- 現場技術者の高齢化と人手不足
- 技術継承の断絶・ノウハウの喪失
- 「きつい・汚い・危険」といった3Kイメージ



この課題の解決には、若い世代が"ものづくりに心から触れられる場"が必要。

熟練技術者の高齢化が進む一方で、若い世代が製造業に魅力を感じる機会を作ることが必要。

技術継承には、実際に考え、作り、失敗と成功を繰り返しても良い挑戦の場が必要。



現場には、高い技術と誇りを持って働く技術者が数多くいます。

私たちは、その姿を「カッコいい製造業」として世の中に再発信し、製造業の価値と魅力を取り戻したいと考えました。

そのための“舞台”として生まれたのが、この「製造業対抗ミニ四駆大会」です。

## 開催する理由 その②

**若者がワクワクしながら技術に触れられる入口を作りたい**  
楽しいからこそ、本気になる。本気になるからこそ、学びが深まる。

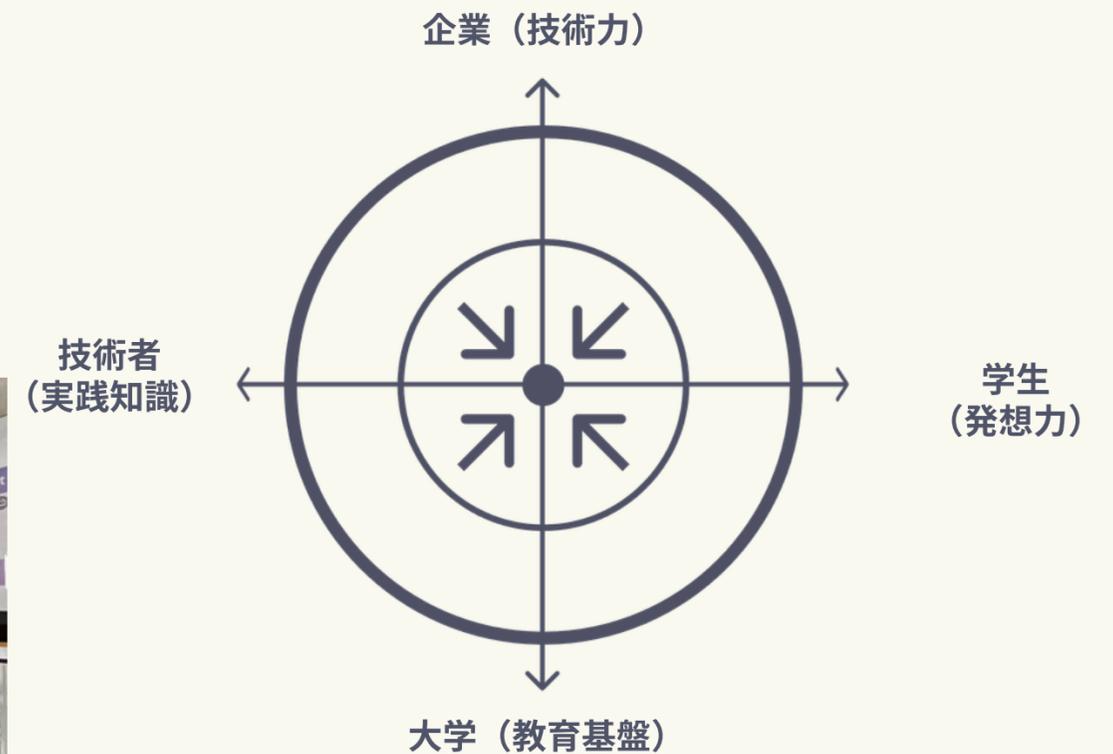
ミニ四駆は一見「おもちゃ」に見えますが、その裏側には**モノづくりの本質的プロセス**がすべて詰まっています。本質的なエンジニアリング教材であり、形状・材質・重量・空力・強度・加工技術—すべてが**“技術そのもの”**。

**車は人を繋ぎ、技術の輪を広げる。**

レースや競技は勝ちたい！という思いからワクワクが始まります。

走るのはミニ四駆という車。

本大会では、“自社・自分の技術の一つ以上入れること”がルールとなっており、技術者・学生が勝つことを目標としたワクワクの中で自然と技術を探求します。このような機会を作ることで製造業という面白い世界を知ることになります。



## 開催する理由 その③

# 企業 × 学生 × 技術者の"共創モデル"をつくるため

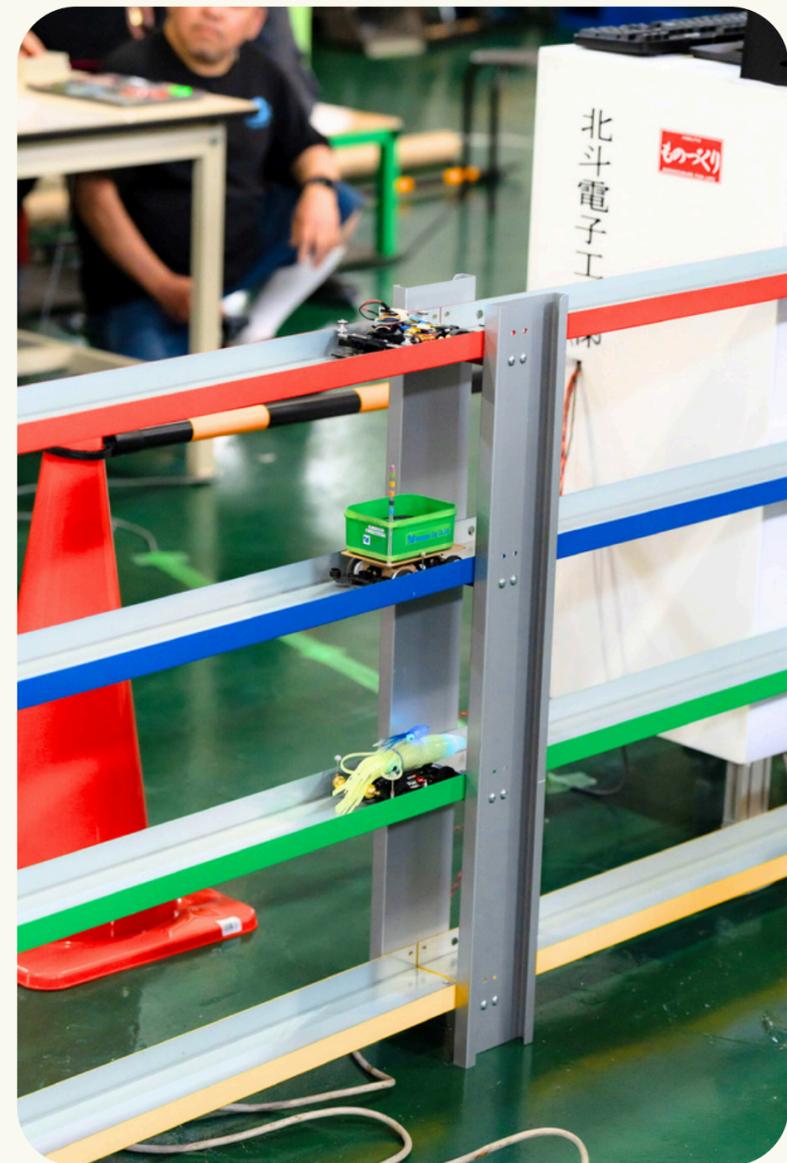
製造業の世界では、ここまで業界横断で「本気で競う」場は多くありません。  
本大会に参加する企業・学生は、いずれも「**技術にチャレンジする挑戦者**」です。



そうした挑戦者が一堂に会することで、大会の場では自然と**技術革新に挑む企業同士の連携**やさらなる**チャレンジを志向するメーカー・サプライヤーとのつながり**が生まれていきます。

この大会は、技術者の挑戦と、それを求めるメーカーとの連携が生まれる場です。  
その結果として、日本の製造業全体のレベルアップと活性化につながることを目指しています。

御社に参画いただくことで、大会そのものの信頼性・社会的認知が一気に高まり、中小企業や学校の参加意欲が飛躍的に向上し、「**業界全体のインフラづくり**」に御社が貢献する構図が生まれると考えています。



## 大会開催による波及効果

1

### サプライヤーとの連携

部品・材料・加工・試作など、新たな受発注や共同開発が生まれています。

2

### 若手人材の育成

「勝つため」に必死になり技術を学ぶことで、設計・材料・加工・検証などの理解が自然と深まっています。

3

### 学生リクルートへのつながり

大会をきっかけに企業を知り、インターン・就職につながった事例が出ています。

4

### 展示会機能の充実

各社の展示ブース設置などにより、レース+技術展示の"技術イベント"としても機能。ミニ四駆という分かりやすい媒体に自社の技術を盛り込むことで、見る側にとっても非常に理解しやすい技術PRの場となっています。

5

### 社内チームビルディング

設計・製造・営業・若手・ベテランが同じチームで車両製作を行い、社内のコミュニケーションや一体感の向上に寄与しています。

# 2023-2026年までの実績と予定 今後の展開

1

2023

## 始動フェーズ

- 7.30 第1回大会開催  
at MACHICOCO
- 11.3.4 第2回大会開催  
at HANAZONO EXPO

2

2024

## 認知フェーズ

- 4.20 第3回大会  
at FACTAS
- 10.12 第4回大会  
at FACTAS
- 11.21 第1回あまがさき  
産業フェアカップ

3

2025

## 実績フェーズ

- 2.9 関東大会入間カップ  
at 安川電機 埼玉営業所
- 3.22 第5回大会  
at クリエイションコア
- 4.26 オイルドクターカップ  
at 三輪鋳油 (三重)
- 5.24 大阪工業大学カップ  
at 大阪工業大学
- 7.26.27 ワールドカップ in  
大阪関西万博**
- 10.2.3 第1回SAKUメッセ杯  
at 長野県佐久市
- 11.20 第2回あまがさき産業  
フェアカップ

4

2026

## 目的実行フェーズ

- 3.28 第6回大会  
at 東大阪市立  
日新高等学校
- 6.27 第7回大会  
at 東大阪支庁1階
- ・全国で定期的に開催
- ・展示会イベントとして  
成長
- ・人材問題の課題解決  
事例が増える
- ・就職イベントなどに  
発展

5

2027

## 展開フェーズ

- ・日本の企業が連携し、  
世界に打って出る新技術  
の革新や新しいコトが  
生まれる。
- ・展示会を海外でも  
開催し、新しい日本の  
技術の魅せ方として  
展開を広げる

6



製造業対抗ミニ四駆大会は、全国の企業・学生・技術者が参加し、モノづくりの魅力を広く社会に伝えるために開催しているプロジェクトです。  
大阪・関西万博では、多くの若者や海外来場者から高い反響を得て、製造業の新たな価値発信の成功モデルとして注目されました。  
現在はその成果を広げ、“次世代育成”と“製造業の活性化”に向けて、さらなる発展を目指しています。

## 進める理由

1. 次世代ものづくり人材の育成に強いシナジー  
本大会は「技術に挑戦する若者を増やす」ことを目的とし、御社が推進されているSTEAM教育支援や製造業の未来を担う人材育成と完全に方向性が一致します。
2. 工学の入り口としての“学びの場”  
ミニ四駆は、設計・加工・制御・改善という工程が揃った“小さな工学”  
若い世代が工学に興味を持つきっかけとなり、将来の技術者育成に直結します。
3. 万博後も続く高い注目度と社会的意義  
万博での成功により大会は認知が拡大し、「日本の製造業の魅力を伝える代表的プロジェクト」として継続的に発信されています。  
この“万博後レガシー”の創出を多くの方にご一緒いただきたいと考えています。

## ご一緒いただくことで生まれる価値

- ① 若手育成の取り組みを広く届ける**  
1 製造業への関心を持つ若者へより広く、確実に届けることができます。  
全国の学生や若手技術者に対して、ものづくりの魅力を効果的に発信できます。
- ② 技術文化を体験として発信**  
2 技術文化や哲学を、講演や展示ではなく、参加者が実際に手を動かす「体験」として自然に発信することができます。技術の楽しさを肌で感じる場となります。
- ③ 質の高い人材との接点創出**  
3 大学生・若手技術者との質の高い接点が自然に生まれ、将来の採用や協業につながる関係性を築くことができます。技術への情熱を持つ人材との出会いの場です。
- ④ サプライヤー企業とのつながり**  
4 技術に挑戦する優良サプライヤー企業とのつながりが自然に生まれ、新たなビジネス機会や技術交流が促進されます。製造業エコシステム全体の強化に貢献します。

# ご参加により生まれる"飛躍"

## 1 若者への"製造業の魅力発信"が圧倒的に強くなる

若者にとって「製造業＝カッコいい技術の世界」というイメージがより明確になります。技術者を目指す動機づけとしてのインパクトは、他のどの企業にも代えがたいものです。

## 2 業界全体の教育インフラに寄与した実績となる

本大会を通じて「日本の製造業全体の技術教育・若手育成に貢献した」という実績を積み上げることができます。CSR・CSVの観点からも、長期的な価値を持つ取り組みです。

## 3 全国大会・世界大会への発展が現実的になる

「参画している大会」という事実は、自治体・教育機関・企業にとって大きな安心材料となり、新規会場での開催や海外展開のスピードを加速させます。

## 4 技術者の社会的価値を高める活動となる

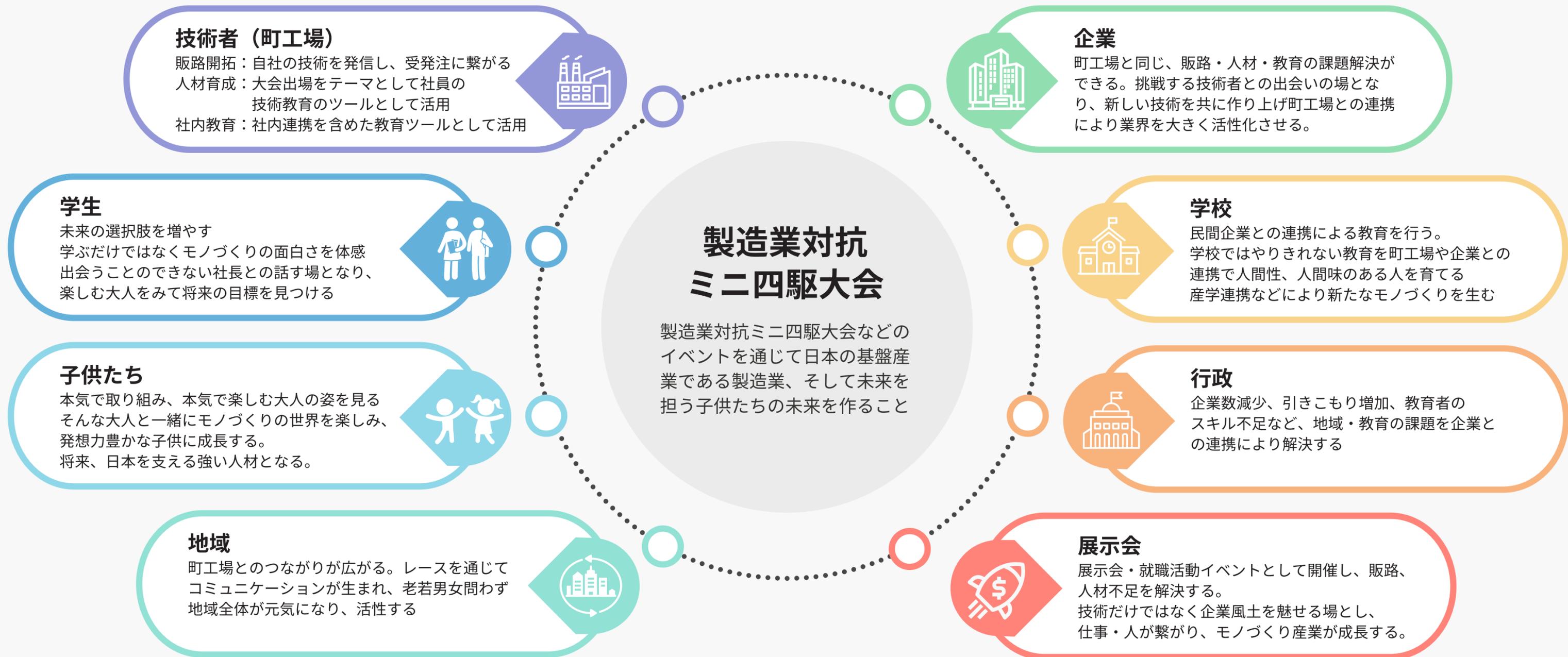
「技術者が主役の大会」に参加することで、技術職の社会的価値・ステータス向上に大きく寄与します。

## 5 日本の製造業ブランドとしての存在感が増す

「日本の製造業全体を底上げするプロジェクトに御社が中心となって関わっている」という構図は、国内外に向けたブランディングとしても非常に強い意味を持ちます。

# 製造業対抗ミニ四駆大会の未来

## 技術者との連携により日本の基盤産業を再構築する



1年後

## 技術教育ハブ・展示会として全国に広がる

- 地域大会の開催（関東・関西・中部・九州エリア）
- 工業高校・大学との連携強化
- 技術展示会・ワークショップ併設
- 参加企業数：50～100社規模

1

2年後

## 全国規模のイベントへ成長

- 年間参加企業数：200～300社規模
- 採用・技術交流・技術PRの融合イベント化
- 企業技術者 × 学生 × 大学の全国連携ネットワーク構築
- メディア露出の拡大と社会的認知度の向上

2

長期ビジョン

## 日本の技術者育成エコシステムの構築

- 大企業×中小企業×大学の技術連携拠点化
- 若手技術者育成の全国モデル化
- 地域製造業の持続的な発展の基盤づくり
- 国際大会への展開可能性

3

## まとめ

製造業対抗ミニ四駆大会に集まるのは、「**技術にチャレンジする挑戦者**」である企業と学生たちです。

その挑戦者たちが一堂に会し、互いの技術をぶつけ合い、認め合い、ともに高め合うことで、技術革新に挑戦する企業同士の連携が生まれ、技術者の挑戦と製造を求めるメーカーとの新たなつながりが生まれ、日本の製造業全体のレベルアップと活性化へとつながっていく。

私たちは、この大会をそのような場として育てていきたいと考えています。

### 魅力の再発信

日本の製造業の魅力を再発信する場

### 教育の場

若手が技術に触れ、成長する教育の場

### 産業イベント

企業・学生・地域がつながる産業イベント

### 技術の祭典

将来的に世界に誇れる"技術の祭典"

このプロジェクトを、日本のモノづくりをリードしてきた製造業とともに育て、次の世代の技術者へとバトンを渡していきたいと考えています。